

たまりば

2025年度 冬号

Communication

通信



◆発行日 2026年1月 ◆発行
〒211-0044 川崎市中原区新城2-4-1
セシーズイシイ2 401号室
TEL 044-789-9812

認定NPO法人 フリースペースたまりば

<https://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org



永井玲衣さんとこども哲学

今年の川崎市こどもの権利の日事業市民企画は、話題の哲学者永井玲衣さんを講師にお招きし、えんの中で「こども哲学」と銘打った哲学対話を行いました。哲学対話をよく知らない人も多いと思うので補足すると、哲学対話は日常ふと考える「なぜ?」

「ふしぎ」「そもそも...!」といった疑問をみんなといっしょになって考える集まりです。哲学対話の約束は【よくきくこと】この1つだけ!誰かが話しているときは「おわりです」の言葉が出るまでは声を被せずよく聞きます(話す人は夏仕様のシマエナガのぬいぐるみを持ちます)。そしていよいよ会がはじまり、まずは参加者それぞれがこの時間だけのいつもとは違うニックネームをつけます。その後みんなから今回話したいことのテーマを募ります。「存在するとはなにか?」「おなかいっぱいになるとなるとなんでもなくなるの?」「ごみってなんだろう?」「死んだらなんでもみがえれないの?」「感情ってなんだろう?」「無ってなんだろう?」「世の中で右利きが多

いのはなんで?」「意識ってなんだろう?」「なんで生きているのか?」「分子ってなんだろう?」「口に入れれば一緒なのになんで料理をするんだろう?」

「どうしてリーダーをほしがるのか?」など、上がったたくさんのテーマから、決戦投票の結果「ごみってなんだろう?」が選ばれ、ごみについて考える哲学対話になりました。言いたいことが浮かんだ人から次々といろんな言葉が出てきます。「誰かにとつてはごみでも他の誰かにとっては必要だったり、大切なものだったりもするじゃん?」通りかかった子が「俺ダンボールで工作するからみんなにとつてはゴミだと思うけど、俺にとっては宝物だよー」、「思い出が詰まった大切なものだったり、それが遺品だったりしたら簡単に捨てるって決められないよね…いつかは決めないとなんだろうけど」、「誰から見てもごみだと思うもの、例えば使った後のティッシュだって燃やせば発電に使えたりもするし、リサイクルできるものならそれ自体資源なわけで…もしかしたらこの世界にごみなんてないんじゃない? ?」

これらはほんの一部で、他にもいろんな視点・角度から、ごみについて、そこから波及するさまざまなことについて考える充実した1時間半を過ごしました。最後は永井さんから発せられる「突然哲学対話は終わります」の一言で終了です。

終り方の斬新さや、対話という性質上、特にまとめや結論は出さない、これまで多くの人が経験してきた話し合いとは一味違うスタイルもおもしろく

「次はいつなの?」と次回を楽しみにする声が多く寄せられました。またやりたいね!! (池ちゃん)

認定NPO法人
フリースペース
たまりば
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

雑居まつり～ヒゲさんと一緒に～

10月12日の晴天の中、今年も雑居まつりに参加してきました。たまりばに集う子ども・若者・保護者・スタッフなどたくさんのメンバーで、今年も炭火で焼き鳥とサンマを焼いたり、みんなで集めたバザー品を売ったりしました。元気いっぱい売り子をしている子どもたちの姿に元気をもらい、若者たちが中心となって焼いている間に、年に一度ここでしか会わない仲間との再会なども雑居まつりならではの楽しみです。そして、なにより今年の雑居まつりは「第50回」でした。ヒゲさんこと澤畠勉さんが立ち上げてから50年。第50回の実行委員長はヒゲさんだ、と去年のお祭のときは話していましたが、それは叶わず。でも当日、ステージの正面に大きなヒゲさんの似顔絵が書かれたシーバルクが立っていました。たくさんたくさんお世話になったヒゲさんは、今でも空の上から僕らのことを見守ってくれている気がしました。(ダイスケ)



これでいいのだ！ 年末おたのしみ会

12月21日、夢パークの年末おたのしみ会。寒い！そして雨予報！そのためか子どもたちが全然いない…なのでまず巨大なマシュマロを最初に配って焚き

火で焼き焼き。するとだんだん人が集まってくる！食べても食べてもなくならない巨大マシュマロに満面の笑みの男の子。大きすぎて食べきれない子も。マシュマロ食べきれないってすごい経験だ！そんな中、おたのしみ会いつやるの？と子どもたち。よーし何やりたい？おにごっこやろう！じゃあ「スタッフ vs こども」で！と、どんどん形作していく。

何回戦かやったあとルールがぐちゃぐちゃになってきて、自然に解散。その場の雰囲気と子どもたちのノリで内容が変わっていくイベント。イベントだったのか？笑 でもこの余白こそが、夢パークの良さなんじゃないかな。(ひろと)



指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<https://www.yumepark.net/>

大えん会、大盛りあがりの巻～！

2025年えん最終日、年末大えん会が開かれました。コスプレをしながら、みんなでせっせと飾りつけた会場はキラッキラ！その中で、懐かしい人との再会や、初めましての出会いもありました。約150人が大集合し、ワイワイ賑やかな時間を過ごしましたよ！ハンバーグや巻き寿司、ケーキといった沢山の料理は、子どもたちが中心になって作り上げました。何を食べてもおいしくて五臓六腑に染み渡る～！突如始まったクイズ大会は終始笑いっぱなし。キレのあるクイズマスター最高でした！最後は恒例のbingo大会。プレゼントを手にしてにんまり満足気なみんな。交換っこしたり披露しあったり、楽しみ尽くしていました。手足が伸び縮みする宇宙人の人形が頭から離れません笑事前準備から当日の差し入れやカンパも大変助かりました。ありがとうございました！みんな、また来年ねー！(わら)



えんくる、お引越しします！

えんくるはコロナ禍に始まり、早いもので5年目に入ります。これまで、フードパントリー、こども☆きっさ、えんくる食堂、チャレンジラボ、時短料理教室、フリーマーケット、その他食支援を行ってきました。ここまで沢山の取り組みを続けることが出来たのは、地域の方を始めとし、ブリュッケの若者、ボランティア高校生、大学生、主婦さん、こども達など、数えきれないほどの人がえんくるに足を運び、関わ続けていてくれたからだと思っています。本当にありがとうございました。今のえんくるは1月までやっているので、ぜひ遊びにきてください♪また、新しいえんくるは溝の口で、縁側がある素敵なお家になります。再開の連絡はまたさせて頂きます、今後ともよろしくお願ひいたします！(きな)



ブリュッケだより

～ピクニック～



毎年ほんまに終わるんかいな。と不安になる程の暑すぎる夏が終わって、ちゃんとやってくれる秋。とりわけ今年の秋は長居してくれたおかげで、ブリュッケでは二か月連続ピクニックに行きました。10月は岡本太郎美術館と併せて生田緑地へ。11月は砧公園。お昼頃出発を目指しみんなでせっせとお弁当作りを始めます。大きなおにぎりにタコさんウインナー、若者特製甘いのとしょっぱい卵焼き二種、ちくわキュウリにサンドイッチも！ブリュッケにある限りのタッパーにぎゅうぎゅう詰めて、遊び道具やブルーシートを持っていざ。なんやかんや言いながら公園に到着してあーだこーだ良さげな場所を見つけてお待ちかねのお昼ご飯。ここに来るまでに相当腹ペコな我々のブルーシートの上には、複雑に交差するそれぞれの手によりすごい速さで減りゆく食べ物がありました。個人的に毎回かじらないと中身がわからないおにぎりが好きです。来年も必ず来てね、秋。（めぐ）



HAPPYえんクリティ

★お隣の介護付きホーム“クラーチ溝の口”さん、夢パークでのeスポーツ交流会後にお誘いいただき、今度はロスえんクエントロスのみんなでクラーチさんにてフルクローレの演奏をしてきました。当日はなんと2回公演！どちらも満員御礼で、演奏後には握手を求められたり声をかけてもらったり、みんなで楽しい時間を過ごしました！（はるひ）
★いろんな方からいただいたり、畠で収穫したりと、えんにさつまいもがいつもあるこの頃です。最近、なるみんと子どもたちで、おやつにさつまいも蒸しパンをつくって食べるのが楽しみのひとつ。ほっくほくのさつまいもと、ふわっふわの蒸しパン、そして優しい甘さが合わさり、とっても美味！ほっこり幸せな気持ちになります。（もぐ）
★えんの真ん中にあるピアノが今日も鳴り響いています。選曲はゲームミュージックや推しの楽曲、映画のテーマソング、懐かしのゴジラのテーマなどなど。延々と同じ曲を聞いていると確実に洗脳されていきます笑。しかし楽譜もなく耳コピで、ソロや連弾で華麗に演奏できるなんて、みんなホントにスゴイ！フェスティバルでも聞きたいな～。（ハイホー）

西やんのつぶやき



「えんくる引っ越し」の記事に驚かれた方もいることでしょう。コロナ禍の中で、食料が手に入らず、困っている人に食べ物を届けたいという思いで、フードバンドリーとして始まった「えんくる」。もともとこの場所は神奈川県の補助を受け、「工房たまりば」として始まった場所。スタッフ・子ども・若者・ボラの大人たちがプロの力も借りながら手づくりしたこの空間を、その後再び改修し、えん保護者によるカフェ「たまりばーる」が誕生。市民の皆さんに愛され、親しまれた時代がありました。そして「コミュニティスペースえんくる」となって5年目を迎えたいま、建物は老朽化が進み、残念ながら床をはじめ、いたるところに手と費用をかけて改修の必要が出てきてしまいました。近年、小さい子連れのお母さんの利用も増える中で、ちょっと赤ちゃんを寝かせたり、おむつを替えられるスペースもない。もう少し広い場はないだろうか。そんな思いで探してきたけれど、ちょうどいい店舗スペースはなかなか見つからない。

そんなある日、溝の口駅から徒歩7分のところに、きれいな2階建ての一軒家があるのを発見。見に行ってみると、いろんなイメージが湧いてくる空間。1階はLDK21.5帖、和室8帖、2階は洋室12帖、和室6帖。ちょっとした縁側空間や、小さな庭もある。ここなら今まで通り、子ども食堂や「こども☆きっさ」も開ける。パントリースペースも取れる。キッチンがしっかりしているので、ちょっとした集まりの会場にも使える。将来的には孤立しないよう、子育て中の親たちを応援できる空間にもなれそうだ。さらに十分な広さがあるので、2階に法人の事務局も移転してくれれば、えんくるスタッフのサポートに入ることもできる。夢が広がる新しいもうひとつの「たまりば」の拠点となりうる場所だ。車庫もあり、自転車を停めることもできる。あとは大家さんが私たちの活動に理解してもらえたらしいなあと話していたところ、サプライズが起きた。たまたま「えん」のおやじの会で長年馴染みの中華料理屋に食べに行ったところ、オーナーのママさんに声かけられた。「あなた、おうち探しているでしょ。」「えっ、なんでママそんなこと知ってるの？」「あそこ私の家よ」「え～～っ」なんという不思議なご縁。とんとん拍子に話は進み、2月には引っ越し完了の予定。夢パークへも15分くらいで歩ける距離です。皆さん、新たなはじまりの応援よろしくお願ひします。（西野博之）



川崎若者就労・生活自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人とのつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、
様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、
15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

たまりばフェスティバル 2025

～今年は フェスティバル～

→ここをうめるのはあなた！

2026年3月7日(土)14:00～17:30(13:30開場)

「えん」で一年間行なってきた講座や企画、メンバーのオリジナル演目の発表と作品展示など、盛りだくさんのイベント・たまりばフェスティバル。ただいま子ども・若者たちによる実行委員会「プロジェクトX」を中心に絶賛準備中です！みんなで目一杯盛り上がりましょう♪

チケット：子ども100円、中学生から500円、おとな1,300円

協力券：1,000円(当日+300円で入場できます)

※チケットのお求めは「えん」まで。当日券もあります。

夢パーク 初夢！新春イベント

2026年1月11日(日)11:00～15:00(17:00閉所)

夢パークで「もちつき」「どんど焼き」「昔遊び」「かきぞめ」などなどを楽しもう。「天下一ベーゴマ大会」もあるよ！※雨天決行

フリースペースって、どんなとこ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第6回 2026年2月21日(土) 10:00～12:30

対象 フリースペース（居場所）の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方

会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的ホール」

参加費 500円 <要予約・各回先着順>

申込み 第6回 2026年1月5日 12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

☆開催日が近づきましたらホームページでご確認をお願いします☆

たまりばホームページ

<https://www.tamariba.org>

たまりば Facebook

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

☆おしらせ～「たまりばメールマガジン」はじめます～☆

たまりばの活動をメールでお届けする「メールマガジン」を発行していくことになりました！

右のQRコードを読み込んで、お名前、メールアドレスを登録いただくと

今後届くようになります。(季節ごと、年4回くらいを予定)

紙媒体でお送りしてきた「たまりば通信」を徐々にこちらへ移行していくこうと思っています！

ご不明な点などありましたら、事務局までお知らせください。

TEL… 044-789-9812 E-mail… info@tamariba.org



↑たまりば通信
メルマガお知らせ.png

ご支援いただきありがとうございます

(2025.9.1～2025.11.30)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。)

掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

赤野香織・一将、坪滝治郎、朱田貴美、新井琴乃、新井倫子、新井野誠、飯沼光津子、石川共平、石戸ナナ子、今村久美、内田成信、内田孝裕、江本靖乃、大石雄太、大橋伸太郎、大堀悠、岡田孝子、岡野慈、沖田裕義、沖津三千治、奥田礼子、小野紳二、小原宏一、金子綾子、金子大也、亀井三由希、神林恵利、菊地紫都季、木崎志保、木村純一、倉方真紀子、古泉聰洋、幸田祐紀子、小出来誠、後藤史子、コンペイトウ、斎藤大、佐々木剣、佐々木直人、佐々木祐磨、椎野修平、重江良樹、清水彩可、鈴木晶子、鈴木美汐、スズキユウコ、田老香奈、田老幸子、高田裕子、田熊菜津、竹内昭、田邊恵佑、土橋優平、堤彰子、手柴充博、徳永恭子、中川裕子、新居千文、野田岳志、橋本誠一、橋本峻、畠洋樹、林貞成、林摘菜、平野翔、平野知恵、広岡希美、廣渡明子、福岡吏絵、福田竜太、堀池雄司、本田正男、松浦えりか、松木雅幸、マリック・サドルディン、森口幸信、家治寛、安田靖子、山口正芳、山下泰司、山下晴子、山本哲也、横山清香、横山晋平、吉井望、吉田純一郎、吉田裕子、吉村友紀子、若木しんこ、渡辺まどか、久米映里、細田和恵、三好洋子、森愛、サポートステーションさいとう、国際ソロプロミスト川崎-百合、

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です！

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-789-9812